

# 平成19年度緑化関連事業

## 1 受託事業

### (1) 国土緑化運動推進委託事業(受託費40千円)

(社)国土緑化推進機構が行う「先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業」の募集事務や進達等事務を受託しています。

- (参考) 先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業を実施している団体
- ・ NPO森林・環境ネットワーク (助成額: 180千円)  
森の文化祭
  - ・ はだしのコンサート実行委員会 (助成額: 246千円)  
次代へ残す鳴き砂の木挽き浜
  - 緑の募金公募事業を実施している団体
  - ・ 山仕事サークル杉良太郎 (助成額: 158千円)  
青年の森林ボランティア活動及び森林山林の認識を深めるための普及啓発活動
  - ・ 八幡たけくらぶ (助成額: 400千円)  
男山地域の荒廃竹林整備事業
  - ・ 府民の森ひよし森林倶楽部 (助成額: 500千円)  
森林施業林業生産等の体験活動と森林整備
  - ・ 竹文化振興協会 (助成額: 500千円)  
竹一株植え付け運動:長野、岐阜、京都
  - ・ NPO法人美山町里山ふれあい振興会 (助成額: 700千円)  
京都市歴史的風土特別保全地区保全活動事業
  - ・ NPOナチュラル (助成額: 200千円)  
地域の子供会・園児を対象としたブルーベリー狩り
  - ・ 京都森林インストラクター会 (助成額: 480千円)  
MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト梅小路植樹会
  - ・ NPO法人平和環境もやいネット (助成額: 1,450千円)  
ベトナム中部高原荒廃林地の香木育林による緑化事業
  - 緑と水の森林基金公募事業を実施している団体
  - ・ (社)京都フラワーセンター花空間けいはんな (助成額: 500千円)  
「ロビンフッドの森づくり」事業
  - ・ フィールドソサイエティー (助成額: 500千円)  
寺林での森林環境教育モデルづくり
  - ・ フォレスターうじ (助成額: 300千円)  
地球温暖化防止のための森林ボランティア活動と普及啓発活動
  - ・ 藪田 登 (助成額: 500千円)  
里山林の経済価値の創出のための利用法に関する調査研究
  - グリーンボランティア研修(通信研修)
  - ・ 5団体6名が受講中
  - 近畿地区森づくりコミッションブロック研修
  - ・ 3月14~16日、(財)和歌山県緑化推進会へ3名程度推薦。

## 2 補助事業

### (1) 緑と水の森林基金事業 (都道府県事業)(助成額3,000千円)

地球温暖化の防止、循環型社会の構築、持続可能な森林経営の推進等「国民参加の森林づくり」運動を推進するため、森林資源の整備、水資源のかん養、府内産木材の利活用等に関する普及啓発を推進するため、緑と水の森林基金の助成を受け次の事業を実施しました。

単位：千円

区 分	経 費 等	事 業 内 容
森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動	1,200	(社)京都府木材組合連合会が、「森と水と木のフェア」を開催し、パネル展示や木工教室による「木」とのふれあいにより、地球温暖化防止、水源のかん養機能など森林の果たしている役割や森林整備の重要性を広く府民に啓発するとともに、府内産材の需要拡大に資するための取り組みを実施した。
木材需要拡大、古紙利用等の推進	300	京都林・材・建青年会議所が、森林の公益的な働きや環境に優しい素材である木材等の展示と木材の利用を促進するための啓発を実施し、森林・林業・林産業の役割を広く府民等に普及啓発した。
森林を活用した青少年の環境教育促進	1,200	京都府内で結成されている「緑の少年団」47団を5ブロックに分け交流活動を実施した。 ・丹後ブロック 宮津市で開催 57人参加 ・中丹ブロック 福知山市で開催 74人参加 ・南丹ブロック 南丹市で開催 54人参加 ・山城ブロック 宇治市で開催 42人参加 ・京都・乙訓ブロック 右京区で開催 39人参加 (266人)
小 計	2,700	
事業諸費・活動費	300	事業実施に係る事務経費
計	3,000	

### (2) 学校環境緑化モデル事業 (事務費50千円)

ローソン株式会社からの「緑の募金」を活用して、学校環境の緑化を通じて青少年の環境教育を推進するための普及啓発を図ります。

- ・ 京丹後市立豊栄小学校 (助成額：500千円)  
とよさか小学校桜が丘緑化事業

### 3 その他

#### (1) もりのくになっぼん運動

##### ア 緑のエコライフ運動

地球温暖化防止対策として二酸化炭素の吸収源としての森林の果たす役割が高まる一方、国民生活にも「緑のエコライフ」への転換が求められています。

このため、その実践のためのバイブルとも言えるブックレットを作成・配布し、個人がブックレットにサイン（約束）して自分に「緑のエコライフ」を義務づける運動を展開します。

##### イ 「森の名手・名人」100人の選定

森や山に関わる生業や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技を究め、他の技術・技能者、生活者たちの模範となっている達人たちを「森の名手・名人」として顕彰し、社会一般に、「森を再生していくさまざまな技術の大切さや山とかかわり続けていくことの豊かさ」をひろめ、併せて、その技を育んできた地域の自然と当地の気風を守り育てていく運動を進めます。

平成19年度認定者

該当なし

##### ウ 森の「聞き書き甲子園」

永年にわたり築き上げてこられた技やその技を通じた森との関わりなどを広く伝承いくことを目的に全国から選ばれた高校生100人が、「森の名手・名人」を尋ねて「聞き書き」を行います。

平成19年度選定者

稲本 朱珠（同志社高等学校1年）

西田 一紀（北桑田高等学校2年）

#### (2) 全国植樹祭・育樹祭

幅広い国民運動として国土緑化運動の中核的な行事です。

平成19年度被表彰者

全国植樹祭（北海道）及び全国育樹祭（熊本県）とも該当なし